

超音波検査を受けられる方へ

検査日時 平成 年 月 日

大垣市民病院 形態診断室

・検査を受けられる前に

1) 食事の摂取は、胃内への食物の貯留、消化管ガスの増加、胆嚢の収縮といった超音波検査にとって悪影響が生じる要因となります。

このため、表1に示す臓器を含む検査の場合は、以下のようにお願いします。

* 午前中の検査 ————— 朝食を絶食とする

* 午後の検査 ————— 朝食は軽く摂取し、その後のお茶等の水分は可

但し、卵の摂取および牛乳などの脂肪質は胆嚢の収縮を起こすため禁止とします。

2) 下腹部(膀胱、前立腺、子宮卵巣など)の観察には、消化管のガスが障害となりますので、検査前には膀胱に尿を充満します。尿が溜まってからの検査施行となりますのでご理解ください。尿が溜まりましたら超音波受付の女子職員に申し出てください。

・検査中に

超音波検査は、非侵襲的な検査方法ですので検査ベッドに安静に休んで頂くだけです。検査技師のほうから呼吸停止などの指示を出しますので、その指示に従ってください。

検査部位の中で、胃や膵臓の観察には、胃脱気水充満法(脱気水～300ml)を利用して検査を行うこともありますので、その際は協力をしてください。

表1

対象臓器	食事制限(必須○)	尿制限(必須○)
甲状腺	—	—
頸動脈	—	—
乳腺	—	—
心臓	—	—
肝臓	出来れば制限	—
胆嚢	○	—
膵臓	○	—
腎臓	—	—
膀胱	—	○
前立腺	—	○
子宮・卵巣	—	○
消化管	○	—
その他	問い合わせ	問い合わせ

(—)は、特に制限がありません。